

社会福祉センター被災状況報告書【書式】

社会福祉センター被災状況報告書

センター利用者、研修生、入館団体職員、管理委託業者当番、県社協職員の安全確保を行ったうえで、建物の状況を確認し、総務部まで報告する。ただし、倒壊の恐れ等がある場合は、外側からの確認とし身の安全を確保する。

確 認 方 法	目 視 他 ()
確 認 者 名	
確認日 平成 年 月 日 ()	確認時間 午前・午後 時 分

被害状況：×被害あり △一部被害あり ○被害なし

	確 認 事 項	被害状況	特記事項（破損した場所等）
建 物 外 観	建物基礎の破損や建物に傾きがあるか		
	外壁材の落下や亀裂、ガラスの破損があるか		
	隣接する建物の傾斜、倒れこみの危険性があるか		
	建物（周辺）の地割れ・液状化があるか		
建 物 内 部	階段の破損や壁の亀裂があるか		
	天井や照明器具の落下があるか		
	床の破損や柱の折れがあるか		
	内壁やドアに破損（亀裂等）があるか		
	ロッカー・書庫の落下、転倒があるか		
ラ イ フ ラ イ ン	電気の確認（OA機器含む）		
	ガスの確認（ガス漏れ注意）		
	水道の確認		
	電話回線の確認		
	下水（トイレ等）の確認		

※注：後日正式な判定は、被災建物応急危険度判定士に依頼する。